

## 【なかなか伝わらない？】

「何度も同じような注意をされる」「何度も同じことを言われる」子どもがこういう思いを持つことは多々あると思います。逆に、「何度も同じような注意をしなければならぬ」「何度も同じことを言わなければならない」は大人の持つ思いでしょうか。ある方とお話をしている、「そのことは子どもに100回以上も話しているのに全然だめなのです」とおっしゃったことが気になっていました。そして、この場合はもう一度同じ話をしても結果は変わらないであろうと思いました。

ここには2つの問題があります。同じことを100回以上も言われた子どもは、回数を重ねる度に聞く耳を持たなくなってしまっているであろうということ。もう一つは、100回以上も同じ話をして伝わらないということは、話し方・伝え方に問題があるということです。そして、後者の方であるところの大人側が自分の思いが伝わらないのを子どものせいにしてしまうことが最大の問題です。

学校でも同じようなことはあります。物事のよし悪しは一般常識と照らし合せてみれば明らかなことであり、それをまっすぐに子どもに伝えていくべきことであるというのは当然の考えです。しかしながら、実際にはそれを受け取る子ども自身の力を考えながら一人ひとり多少異なる声かけが必要になることもあります。どんなに立派な声かけや注意をしたとしても、受け取る側に力がなければ何も変えることはできませんし、何も変わりません。他の人から見ると、ある子への注意の仕方や指導の仕方が甘いのではないかと思われることもあるのを承知していますが、子どもへの声かけはその子の成長の段階を考えながら行っていることをご理解いただき、ご自身が子どもに声をかけるときにもそういう気持を持っていただくことはやはり大事なことであると思います。

しかし、不思議です。大人に、親に、先生に「それはいけないことだからからやめなさい」と言われたことがどうして伝わらないのでしょうか。子育て真最中の皆さん、この疑問に何か答えを、皆さんの考えを私に届けていただけないでしょうか。

## 【ぼくに（私に）何かできることはあるかい？】

小さい子どもが母親と一緒に、買ってもらったばかりのスケートボードを持って公園に行き、そこで遊ぼうとしたら、多くの少年たちがすでにスケートボードで遊んでいて、とてもその小さい子が入りこめるような状況ではなかった。そんなとき、一人の少年が近づいてきた。母親は自分の子どもが「邪魔だからどきな！」とでも言われるのかと思った。ところがその少年が言ったことは「ぼくに何かできることはあるかい？」だった。

この話を通勤途中のラジオで聴きました。この少年の心遣いに心が温かくなりました。

このとき小さな子どもは初めての挑戦だったのでしょう。少年に声をかけてもらったときに、何と返事したのかと考えました。それは分かりませんがこの少年からのアドバイスをもらいながら楽しい時間を過ごすことができたと思います。

さて、私はこの少年の言葉が何かとても大切なことを私に教えてくれたような気がしました。

学校で子どもたちと生活していると、子どもたちの様子からこちらの何かしなければならぬと思い、その子どもが何を思い、何を求めているのかを、十分に理解しないうちに行動に移ってしまうことがあるように思います。日々の子どもたちとのふれ合いの中に、もしかしたら「私に何かできることはあるかい」と伝えるだけの心の余裕があるとよいのではないかと自分を振り返りました。子どもが自分に何を求めているのかをしっかりとその子自身から聞くことが大切であり、それを聞くことができるような信頼関係を普段から作っておかないといけないのだらうと考えました。

また、子ども自身がどういうことを人に求めるかを自分の言葉で伝えることには大変重要な意味があります。子どもを大きく包み込む優しさを持つことを第一としながらも、子ども自身から発せられる言葉にはこれまで以上に真剣に向き合うようにしていかなければならぬと考えました。

## 【駅近くの防災マップ】

2011年の震災からまもなく5年が経過しようとしています。福島第一原発の事故の処理はまだまだ進まないことをニュースなどで知ることができます。日本私立小学校連合会加盟校である福島の学校からは、除染後の土が校庭に埋められていたり、敷地内に積み上げられていたりしている状態であり、そのような環境の中で子どもたちが学校生活を送っているということでした。事態の改善を願いつつ、私たちはそれまでの災害への備えを大転換する機会となったあの震災を忘れてはいけぬと思っています。

子どもたちの多くが利用する小田急電鉄ですが、小田急沿「震災時一時避難・帰宅支援マップ」というものを駅で配布していることをご存知でしょうか。小学校単独では調べきれない多くの情報がこの冊子にまとめられており、大変よいものを作っていただけたと思っています。学校での一斉配付はできないそうですので、保護者の皆様も是非窓口でいただき家庭に1冊お持ちいただければと思います。